

支倉常長フェロー報告書

提出日 2011年11月17日



申請者	氏名	光石陽一郎
	所属・職	医化学分野・大学院生
出張期間	2011年11月1日～11月7日	
渡航先	米国・ボストン	
渡航目的	学会参加 (Discovery on Target 2011)	
発表演題名あるいは共同研究課題名	Transcription factor Nrf2 drives the pentose phosphate pathway and glutamine consumption in proliferating cells.	

得られた成果など

近年、癌の代謝の分子メカニズムは急速に解明が進むとともに、癌の治療の標的としても注目されている。今回、米国・ボストンで開催された Discovery on Target 2011 に参加する機会をいただき、 Transcription factor Nrf2 drives the pentose phosphate pathway and glutamine consumption in proliferating cells と題して、ポスター演題による発表を行った。

癌細胞では細胞増殖に必要な核酸を合成するために、新規合成経路を活性化させている。私たちは転写因子 Nrf2 がその新規合成経路の制御因子であること、その活性化の機序、さらにその阻害による抗腫瘍効果を報告した。癌の治療の標的になりうるかという視点で製薬企業の関係者からいくつかの貴重な意見をいただくことができ、論文作成に向けて非常に意義のある学会参加となった。



(ポスター会場)